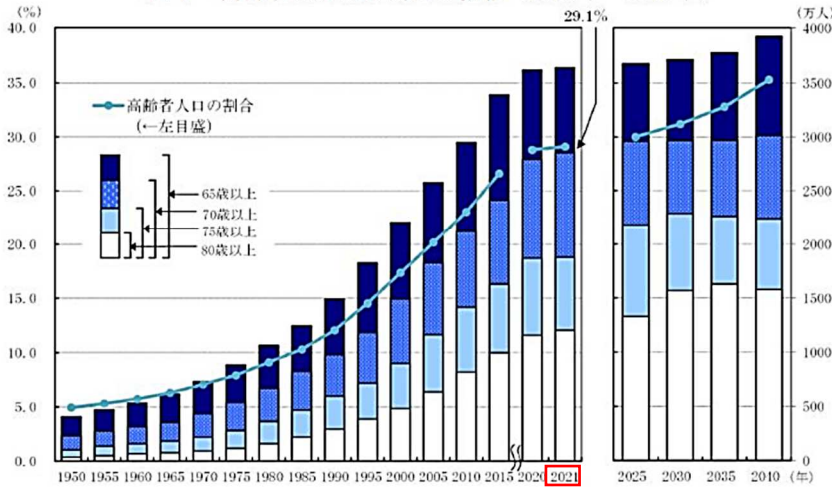


日本の高齢化 高齢化社会から幸齢化社会へ

図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



総人口に占める 65 歳以上の高齢者（以下「高齢者」といいます）人口の割合の推移をみると、1950 年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985 年に 10%、2005 年に 20%を超え、2021 年は 29.1%となりました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第 2 次ベビーブーム期（1971 年～1974 年）に生まれた世代が 65 歳以上となる 2040 年には、35.3%になると見込まれています。

表3 高齢者人口の割合（上位 10 か国）（2021 年）

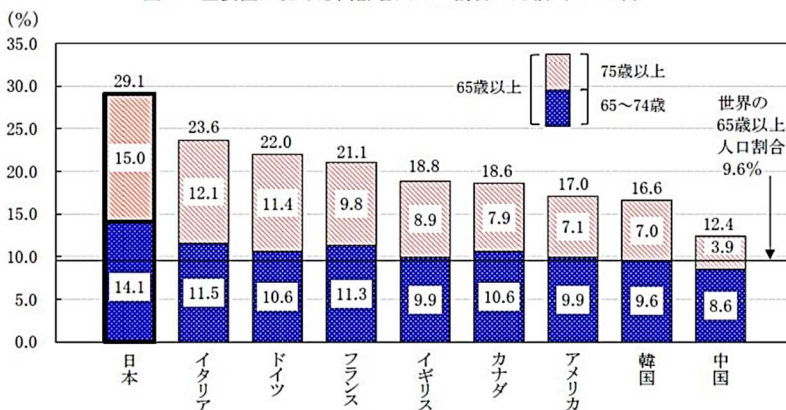
| 順位 | 国・地域 | 総人口 (万人) | 65歳以上人口 (万人) | 総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%) |
|----|---------|----------|--------------|------------------------|
| 1 | 日本 | 12522 | 3640 | 29.1 |
| 2 | イタリア | 6037 | 1425 | 23.6 |
| 3 | ポルトガル | 1017 | 235 | 23.1 |
| 4 | フィンランド | 555 | 127 | 23.0 |
| 5 | ギリシャ | 1037 | 235 | 22.6 |
| 6 | マルティニーク | 37 | 8 | 22.3 |
| 7 | ドイツ | 8390 | 1844 | 22.0 |
| 8 | マルタ共和国 | 44 | 10 | 21.8 |
| 9 | ブルガリア | 690 | 150 | 21.8 |
| 10 | クロアチア | 408 | 88 | 21.7 |

資料：日本の値は、「人口推計」の 2021 年 9 月 15 日現在、他国は、World Population Prospects: The 2019 Revision (United Nations) (201 の国及び地域を掲載) における将来推計から、2021 年 7 月 1 日現在の推計値を使用

2021 年の高齢者の総人口に占める割合を比較すると、日本（29.1%）は世界で最も高く、次いでイタリア（23.6%）、ポルトガル（23.1%）、フィンランド（23.0%）などとなっています。

これからの日本は、高齢化社会を見据えた上で、世界一の幸齢化社会を目指す国になる使命が与えられている。

図2 主要国における高齢者人口の割合の比較（2021 年）



詳しい結果は、以下のホームページを御覧ください。

[高齢者の人口](#)

[人口推計](#)

[World Population Prospects](#)

©1996 総務省（法人番号 2000012020001）統計局